大学の石松　太陽族に挑戦す（1956）

メディア 映画
ジャンル 青春
製作国 日本
色彩 B&W
初公開日 1956/09/11

【解説】
若き日の高倉健が空手部の主将を演じる人気シリーズの第三弾。宮本幹也の小説『大学の石松』をもとに、前作でも脚本を担当した松浦健郎と監督を担当した小石栄一が再びコンビを組んで映画化。他のスタッフ・キャストも前作と同じメンバーが顔を揃えている。
奪われた遠征費用三十万円の行方を追う昭和大学拳闘部部長の清水次郎吉教授は、麻薬入りチョコレートを流している密輸団に捕まり、地下倉庫に監禁されてしまう。石松こと石田松夫は千春の紹介で女流彫刻家である堀スマ子の別荘で雇われるが、彫刻モデルになりパンツ一丁になったところ、スマ子に気に入られ追いかけ回される羽目に。ところが門番の戸田たちが麻薬入りチョコレートを受け取っている現場を目撃した石松たちは、麻薬団の本拠地に乗り込むのだった。

【クレジット】
監督 小石栄一
企画 光川仁朗
原伸光
原作 宮本幹也
脚本 松浦健郎
撮影 佐藤三郎
美術 中村修一郎
音楽 飯田三郎
出演 高倉健
高木二朗
中原ひとみ
小宮光江
園ゆき子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.